

中齋塾 東京フォーラム
平成 28 年度 第四回講話

平成 28 年 4 月 9 日
於 湯島聖堂

先日、矢野弾先生の所におじゃました。『カレント』が創刊号からありました。これは良いということで猪瀬理事長と話し『知足』も纏めてみました。どうぞ季刊誌『知足』を回していただけますか。

紹介書籍

『幸福は幸福を呼ぶ』 宇野千代著 集英社文庫
『物の見方 考え方』 松下幸之助著 PHP 文庫

今日ご紹介する本は、どちらも基本的なことは同じです。物の考え方しだいで人は幸せになり不幸せになるという内容です。その幸せ不幸せも、その心持ち、自分の物の考え方、それで変わるとい話話色々書いてあります。

なるほどなと思ったのですが、宇野千代さんがお風呂に入って気持ち良くゆったりして出たら、お風呂に鏡があるので鏡の前で何となくポーズを取って立った。そうしたら何かまあ、まるでヴィーナスだなと自分で自分を思ったと書いてあります。よく考えてみたら湯気が立ちこめている中、自分で自分の体を見てヴィーナスみたいだと思ふのは自由ですが、75歳の視力で見たからそう見えたんだなあと納得をした。幸せは自分の物の考え方ひとつ。これが良いですね。

松下幸之助さんの本には論語の「吾十有五にして学に志す」二十代はありません。二十代は好き勝手なことをやってよろしい。「三十にして立つ。四十にして惑わず。五十にして天命を知る。六十にして耳順う。七十にして心の欲する所に従えども矩を踰えず」という言葉と、同じ意味合いのことを優しく書いてあります。

経営者はこういう物の見方、考え方でやっていけば良いというものが平明な言葉で書いてあります。松下幸之助さんは色々な場所で話をしたり座談会をする時にテープをとっていました。そのテープを全部集めてテープ起こしをして、その原稿を一所懸命に自分一人

で直すのではなく専門家も集まって直しました。それで世の中に出せる本に作りあげて世に出しているという経緯を辿っています。

前に申し上げた縦軸と横軸の物の考え方で言うと、縦軸は日本の歴史、哲学をしっかりと学んで、横軸は色々な情報知識を出来得る限り広げていく。色々な情報知識をどんどん入れていくと知識が混ざり合っ、ある日突然爆発をする。そうすると新しい知恵が生まれると申し上げました。そういう観点で今回ご紹介した二冊の本は良いと思いますので、皆さまにお返しをいたしました。

それから今日はある人から論語を最近まともにやってないじゃないのというクレームがきました。色々な話の中で論語がちょこちょこ入っているのですが、論語をきちんと最初から話をして欲しいそうです。ですから今日は頭の中にそれが残っておりますので最初に論語のお話をします。

論語の視点

私は論語をどう読むかということ解説しながら申し上げます。今日は久しぶりに吉良評議員に素読をしていただきました。出だしは格調高くて良かったなと思いました。ところが後半は、あまり読み込んでおりませんという感じに変わってきました。

素読をすると、その方がどれくらい読みこなしているかというのが見えてきますし、感じてきます。ですから何度も事前に読んでくださればよいと思います。

<憲門十四>

【十】或^{ある}ひと子^し産^{さん}を問^とう。子^し曰^{いわ}く、恵^{けい}人^{じん}なりと。子^し西^{せい}を問^とう。曰^{いわ}く、彼^{かれ}をや^{かれ}彼^{かれ}をやと。管^{かん}仲^{ちゆう}を問^とう。曰^{いわ}く、人^{このひと}や、伯^{はく}氏^しの駢^{べん}邑^{ちゆう}三^{さん}百^{ひゃく}を奪^{うば}う。疏^そ食^しを飯^{くら}い、齒^{よわい}を没^おするまで怨^{えん}言^{げん}無^なしと。

ある人が孔子に「子産とはどういう人物ですか」と聞いたら、孔子が答えて「恵み深い人だ」と答えた。「子西という人物はどうですか」と聞いたら、孔子も腹の中で多少不快感をもっているから、彼のことを「彼、彼」と首を傾げて言っている。ちゃんとした答えが出なかったの、管仲はどうですか」と聞いたら、管仲のことについては「伯氏の駢邑三百を奪う」で、間接的な人物評価をした。これは恒公という君主が伯氏という人の領地である駢という村、三百戸ある。その領地を奪って管仲にあげた。でも伯氏は管仲を怨まなかった。「疏食を飯い、齒を没するまで怨言無しと」伯氏は一生粗末なご飯を食べて、死ぬまで怨み言は言わなかったというふう書いてあります。

ここで私の読み方は、読みながら頭に浮かぶものを申しあげますので、参考にしてみてください。

「或ひと子産を問う。子曰く、恵人なり」と恵み深い人は、今の世の中ではどんな人だろうと思うわけです。例えば今、瞬間的に頭に浮かんだのはユニクロ。なぜユニクロが浮かんだのかは分かりませんが、ユニクロという会社は大きい。でもあんまり恵み深い人だとは聞かないな。会社の中で話す言葉を英語で全部やろうとしているようです。どこまでいくのかな、どういう視点なのかなと一瞬浮かびます。今、ユニクロは時代の流れの中で翻弄され、どんどん打つ手を間違えていると言うのかな、時代の流れを読み損ねて右肩下がりになっている。その右肩下がりが頭の中に浮かんだ。また三井・三菱・セブン&アイ・ホールディングスと浮かびました。

数日前の新聞で、三井・三菱も創業以来はじめて赤字に沈んだとありました。テレビやネットで騒いでいました。おまけにセブン&アイ・ホールディングスの鈴木会長が引退表明とありました。こういう人達を頭の中で浮かべてみると恵人なのかなと考える。この恵人という言葉に引っ掛かり、今の世の中で恵人はいるのだろうかと思いました。

論語の言葉の中でひとつ「恵人」という言葉から次々に色々なことが浮かんできます。時間があるから少し脱線。

セブン&アイ・ホールディングスの話は最近の話です。伊藤名誉会長が90歳を越してまだ健在。洋服屋の羊華堂から始まって、それをイトーヨーカ堂という巨大なスーパーに仕立て上げた。その仕立て上げていく中で役員の中で、本当かどうか分からないが、私の頭の中にあるのは、はみ出し者の鈴木さんという人がいた。その人がアメリカ出張時にセブンイレブンを見て、イトーヨーカ堂でもやりましょと発言をしたら、みな反対。こんなもの当たるわけがないと、けなされた。会が終了したあとに今の伊藤名誉会長が「お前の言っていたのは面白い」と。皆に大きな顔ではなくて、例えば正門から堂々とするのではなく、でも裏口から入るように手をつけてよいと。イトーヨーカ堂本業の中で生まれたものではなくて、伊藤名誉会長のちょっとした暗黙の了解で、片目つぶるからそっとやれというサインで始まったのがセブンイレブン。それが見る見るうちに化け子会社のセブンイレブンが親会社のイトーヨーカ堂を呑み込んだ。それから日本のコンビニのスタイルは鈴木会長がどんどん考案し、親元のアメリカも呑み込み巨大な化け物に変身していった。それが今のセブン&アイ・ホールディングスになりました。セブンイレブンの第一号店は豊洲で42年前にできている。42年前の豊洲は、今の豊洲とは似ても似つかぬうらぶれた漁師町というのかな、とても発展しそうもない場所にできたコンビニでした。それが42年間に巨大化していき、日本のコンビニの生みの親、鈴木会長はセブン&アイ・ホールディングスの実力者になり、トップとして君臨をした。ただ42年間に鈴木さんも驕り高ぶりがでてきて、最近では批判する人間はいなくなったと感じます。誰も批判しなくなったものだから自分でも危ないと思って社外取締役を入れているのでしょう。社外取締役3人が大学の先生で、1人が元警視總監という形で構成されて15人の取締役がいた。その中で今

回、騒動の原因になったものの背景には創業家があって、鈴木さんは力を持っているけれども、いわゆるサラリーマン経営者である。そうすると創業家から見て順調に会社を運営し発展させている間はサラリーマン経営者を認めていた。でも今回のやり方は駄目だと創業家が思ったから、創業家が NO と言った。それから取締役会の中で 8 票賛成があればいいけど 7 票しか集まらなかった。6 票が反対、2 票が棄権ということで鈴木会長が提案した人事案が否決をされた。それで否決をされた瞬間に御本人は、腹の中は分からないでも反対者がいるということは私がもう引退しなくてはいけない。自分の求心力に陰りがでてきたから、なおかつ息子を会社に入れたということは創業家を乗っ取ろうとしているという燻りの声があちこちにある。そういうことを踏まえて辞めると言った。

…昨日見た桜は花吹雪で綺麗でした。人間って変なものでね、桜の時期になるとよく思うのですが、散っている時の潔さというものがある。そうすると鈴木会長の散り際は潔くない。ドタバタの前にきれいに辞めていけば、名経営者として名前が残るでしょうけれども、こういうドタバタを起こして辞めると名経営者ではないとなってしまう。ですから散り際は肝心だと思います。この「恵人」から少し広がりました。

読んでいく中で、現代の社会に置き換えて論語を読みましようという話は、私の場合ですと、こういう読み方をしているという紹介です。

【一】子曰く、貧しくして怨むること無きは難く、富みて驕ること無きは易し。

これも今の話と同じです。「貧しくして」貧乏な時は、あいつは運がいいから、羨ましいと色々と人様のことについて誹ったり、怨んだりします。もしも俺があいつの立場だったらみたいなことを考えて、つい腹の中で思うことが言動にも出てしまう。ですから貧乏な時、逆境にある時は、ほどほどで良からうと思う人は少ない。「怨む無きは難く」怨んだりしないということは難しい。「富みて驕ること無きは易し」金持ちになったら、また順境であれば驕りたかぶるということはしません。これは簡単だということです。

今、頭の中に浮かんだことをお話します。極楽浄土に人間は行きたいと思う。どこかの王様が極楽浄土に行きたいから、びっくりするぐらいの寄付をどんどん仏門にした。王様はあれだけ寄付をたくさんしたから、さぞかし有難うという普通の科白ではなくて、もてはやす言葉で感謝の言葉を述べるだろうと、そういう言葉を期待していたら有難うも言わない。他にも同じような話がありますが、仏教の中の感覚でお布施というものがありますが、ニコニコするのは顔施（がんせ）といいます。顔施がお布施で一番素晴らしい。相手にお金か何か物を差し上げるということは、貰う側からすると相手に良いことをさせてあげている。だから物を貰ってあげるから出す方は感謝して貰い、有難うと言わなければ本当のお布施にならないということが、よく仏教では言います。

今、頭の中に浮かんだものをそのまま話しています。頭の中に浮かぶものを分析し、人様に話すように変えようと意識して喋っていません。論語を読んでいる時には頭の中にこういう物が浮かんでいると思ってください。

浮かんだものを普通は喋らない。話して良さそうなものだけです。ここでもうひとつ出てくることは、自分自身はどうかなということです。自分を振り返ると同時に世の中を見渡してみても人様を怨んでいる言葉を出す人間は、ここの言葉を教えてあげれば良いだろうし、特に政治家、高級官僚、またはパナマ文書で名指しされた人達は、論語を読むべきだと思います。

【一二】子曰く、孟公綽は、趙魏の老と為さば則ち優ならん。以て滕薛の大夫と為すべからず。

「趙魏の老と為さば則ち優ならん」これは今の日本の総理大臣である、安倍さんでいきましょう。

「趙魏の老」孟公綽は晋の大臣で細かいことをあまり気にしない。大人（たいじん）で鷹揚に構えて仁徳があるし部下も良い人達が揃っている。「老」は家老です。

ここは趙魏という大臣の家老になったら優秀な人達、部下がたくさんいて、指示を与えるだけで順調に務まる。しかし「滕薛」という小さい国、まわりで見ればどこがいいかな、今の時代だと北朝鮮かな。「大夫」は大臣であったり内閣総理大臣であったり。その小さな国の舵取り役として就任した場合には、この孟公綽はちょっと難しかろうという説明です。

安倍さんとは考えてみますと、日本の内閣総理大臣は務まる。何故か、まず権謀術数に長けている。それから何が何でもお祖父さんを超えてやろうという想いがある。

それから周りに総理大臣になりたいという野望を持っている政治家。衆議院議員になると、こんな人がよく衆議院議員で受かったものだなと思うような人でも、万が一間違えれば自分も総理大臣になる芽はあると思うわけですね。ここでまたパッと浮かんだのは、昔のサラリーマン重役。『三等重役』源氏鶏太が書いた小説です。あれは終戦直後、会社の偉い人達が追放されて平社員が何だか知らないけど役員になったり社長になったりという話です。でも地位が人を作るということで部長・課長クラスが役員になったらちゃんと会社がまわり発展もさせていった。そういうところで考えると、安倍首相の下にいる若手の議員達は、もし何かアクシデントがあつて上にいる議員達が全部消えてしまったら、自分の出番だと思っている人がどれだけいるか。それが高じると何かアクシデントがあつて消えたらばと思ひ仕掛けをする。でも甘利さんは仕掛けをされて落ちたんじゃないと思う。たぶん、あれは脇が甘すぎたと思います。でも色々仕掛けをしておいて足をすくって根絶やしにするやり方がひとつ。それからアメリカの顔を見て、アメリカにとって不都合な政治

家がいたら、田中角栄であろうとも潰せというふうにアメリカの誰が言ったかは知らないけれども似たようなことは、もう最近喧伝されています。ですから今の安倍さんは、ちょうど良いポジションにいて、ちょうど良い人材が下にいるから総理大臣は務まるけれども、もし北朝鮮のトップになったら直ぐ粛清されてしまうのではないかと思います。

会社でいけば、小さい会社の社長は朝も早くから夜中まで必死になって働いて、いつ寝るのかと思うような感じで、めちゃくちゃに働くのが小さい会社の出だしです。最初は大体どんな仕事でも埋まるものだと思いますので小さい会社の社長は務まる。ある程度大きくなってきた時では、人数でいくと 100 人 200 人ぐらいの時は先頭をきってやれば良い。ところが 500 人を超すと先頭きってやっているだけでは駄目です。1000 人以上になれば、それぞれの責任者は必要で 2000 人を超している時は、それぞれの役員の人達が自分で判断して自分で動かなければいけない。3000 人を超したら方角はあっちだよ、こういう法律ができたよってヒントを与えれば、会社は大体まわると感じています。ですから、その時々に応じて自分のやり方を変えなければいけないことを実感しています。

ここで読むことは、自分自身に置き換えて自分が今やっている仕事は、自分で全部盛りしなればいけないのか、それとも誰か責任ある人間に仕事をやってもらって、それが順調にいくかどうか管理監督していくという役目が変わっていくかどうかを、時々見なければいけないと論語を読んでいて感じます。

論語の説明をする時に私の頭の中は色々こういうものが巡り巡って、もっと他のものが浮かびます。それを色々散りばめながら話します。今、浮かんだものの源泉になっているものが、これは昨日・今日の新聞ですけれども、ちょっと新聞の御紹介をします。

今日の読売新聞の編集手帳で、南米ウルグアイの前大統領ホセ・ムヒカさん 80 歳。大統領の頃は、給料の大半は貧しい人に寄付。公邸には住まず、町まで遠い農場から古びた愛車を自分で運転して仕事に出掛けたと。他の新聞にも出ていますし、色々ネットにも出ています。この人の主張などを見ると中斎塾フォーラムの「足るを知る」を実践している人だと思います。ということで新聞の中でも良い記事があったと感じます。

それから、それに合わせてひょいと浮かんできたのが大隈重信。まったく別物ですが大隈重信は亡くなった時に国民葬でした。大正 11 年日比谷公園で大隈重信の国民葬が行われたけど、その時は 30 万人を超える人が参列をしたと書いてあります。この人もお金の面で私利私欲というのは、あまりないみたいですね。ただ権力欲だけはすごくあった。それでも国民葬にはたくさんの方が参列しました。大隈重信と共によく名前が挙がるのは山県有朋。この人も国民葬でしたけれども参列者は少なかった。何故か。山県有朋は立派な別荘をたくさん持っていました。ここら辺ですと椿山荘は有名ですが、お給料だけで、あれ程の別荘をたくさんは持てない筈だということで、国民葬の参列者が少ないと山県有朋の場合は出ていました。

岩崎弥太郎もあちこちに別荘を持ちました。この間、岩崎弥太郎絡みの物をみたら「お

前は土地を買い占めてどうするんだ」と、知人に言われたので「これだけの土地を買い占めたら、これを持って国家に御奉公をする。国のために新しい、また新たな事業を起こすために必要だから買い集めている」というような返事がありました。でもその後すぐに亡くなりましたけどね。ということで、ひとつ物を見たら、そこからどんどん色々な物が繋がり合ってきて蜘蛛の巣状になり、そのうち埋まってくると考え方がパチッと弾けます。

セブンイレブンやセブン&アイ・ホールディングスに関する話がいくつも出てきました。読んでみると新聞社によってやはり書き方がちょっと違います。それからエピソードも違います。こういうところで読んだエピソードは自分で実際に調べないと分からない。昔ありましたが「講談師、見てきたような嘘を言い」今は「新聞社、見てきたような嘘を書き」ですよ。ネットやユーチューブのほうはまだましかな。でもあれだって映像で映すから全部そうかと思うとそうではない。映像で映っている物は本物かもしれないけど、隣でまるつきり違う動きがある。デモをする場合でも、デモをしている場面だけ映像を流し続けていれば、かなり激しいデモだなと思う。でも反対方向の画面は田園風景が広がってのんびりしている人が一緒にいた。そういうことはよくある話です。ですから自分の目で見、耳で聞き体験する。そこをベースにして新聞を読んだりネットを見たりする必要があると感じます。

新聞は時間があればもうちょっと後で申します。さて本来のレジメに戻ります。

恒例の質問

・昨日 1 日良い日だったなという方

有難うございます。ゆっくり手を挙げましたが、何かこう頭の中でせめぎあっていたか？

一実は昨日 35 年ぶりに会社の同期会がありまして、もう敬老会みたいになっているんですけど、ゆっくりと会社での友人達に会ってきました。

それを良いと受け止めたか、ちょっと？が付いたかで少し手の挙がり方が違ったのですね。

・昨日 1 日、嘘をついていない、昨日は嘘をつかなかったという方

寝る時にそういうことを考えて寝られる習慣は良いと思います。

・昨日有難うと言ひ、有難うと言われた方

・どちらかと言えば有難うと言われた方

有難うと言われる方が多い。これは素晴らしい人の集まりだと思います。有難うと言われるということは人様に何か差し上げることを意識しているわけだから、とても良いこと

です。

・昨日1日、または朝目覚めてから今までの時間で健康法を実践してきた方

その健康法を1日または朝起きた時でいいですね。朝起きた時に健康法をやらないと何か1日が始まらない。それから1日終わった時に、この健康法をやらなかったから何か変だなと思う。健康法をやったから良かったなと思っていけばそれで良いわけです。

1日の始まりや終りがはっきりしているかということを経験という視点で考えてみてください。

・健康法によってスッキリしたという実感をお持ちの方

健康法が身に付いている方は何かやらないと気持ちが悪い。その生活習慣は認知症予防に繋がるそうですから是非お続けになるとよい。

私はストレッチを毎朝30分ぐらいやっています。調べたら15年ほど前からやっていました。10年ぐらい前までは今日は面倒だな、今日は止めておこうかなと思う。朝は面倒だから夜にやろうと思っていても、夜になったらもう疲れてできない。やっぱり思った時にやっておくことが健康法は良いようです。真夜中に起きてちょっとやるとか、それが生活のリズムに組み込まれるかどうかだと思います。

・昨晚寝る時に明日以降を過去形でイメージして寝た方

2人おられる。有難うございます。

・昨日1日、何らかの自分磨きをした方、どうでしょう。

ゆっくり、ゆっくり首を傾げて戻りつつ手が上がった。心の葛藤を表したのでしょうか。でも手が上がったということは何らかの自分磨きしているということですから、事上磨練で意識してください。事上磨練は陽明学の中にあります。日常生活を通じて、またはこの仕事は自分の結果として磨いてくれていると思う。事上磨練という言葉調べてみてください。

最後に先ほど理事長が言われたことをちょっと補足して、木内顧問が「何で中斎塾は人がなかなか増えないの」と。「それは学ぼうとする人がいないからだ」というようなことを理事長が言われたが、学ぶことに関しては、人は集まらない。論語は難しいから今さら勉強なんかということですが、お金儲けの匂いのする所はたくさん人が行くみたいです。結果としてお金が残るのは良いことだと思っています、結果としてですね。最初から欲しいと思って人の懐に手を入れて持っていこうとするのはよくない。でも目くらましで結構ある。判断基準で、自分だけ先に儲けようと思うのではなく、世のため人のために何かして最後に、あらあらお金も残ったねとなると誰も文句は言わない。それに関して洪澤栄一

と岩崎弥太郎の船中間答があります。三菱は株式会社の体をなすといえども全ての利益は岩崎弥太郎個人に存する。なれど失敗をした場合の責任も全て岩崎弥太郎個人が負う。それでは駄目だと言ったのは洪澤栄一です。その中身は有名な船中間答に展開されています。

基本哲学

<知足>

知足「足るを知る」これは先程申し上げた南米ウルグアイの前大統領ホセ・ムヒカさん。写真だけ見るとすごく穏やかな良いおじいちゃんという感じがします。夫人と一緒に花や野菜を育てる世界で一番豊かな大統領ということです。日本で今、花や野菜を育てようと思うと難しいんですね。

テーマ

<歴史は繰り返す>

昨年暮れに、代取会長を辞任して引退をしました。そうしたら、やりたいことがどんどん出てきて、研修会・研究会をやりたいと思って始めたものを数えたら 6 つ、定期的なのが 4 つ、時々が 2 つです。その他にこの中斎塾フォーラムと同じような形態の物を福島に作ろうと思って立ち上げを今やっております。

日本はそのうち、お金が使えなくなる。お給料もお金で貰えなくなるから、食べ物でお給料に変えようという時代が来るという話を言い続けていますので、対策として家庭菜園を始めました。家庭菜園を 3 年程やったら何かもっとやりたいと思ひまして農業法人を作ろうと思ひ動き始めました。農業生産法人を作る場合には、農地の所有者でなければ許可しませんと言います。農地を買いたいけれども、農家でなければ、または現在農地を所有している人でなければ農地は買えません。どうやったら農地を買えるのか。方法はないことはない。農地を借りてくださいと言います。農地を借りて事前に計画書を出し三年間農業をすることを農業委員会に届けて報告を繰り返して、OK となったら晴れて農家の仕事に手を出すことが出来るという話を確認しました。それで最低五反以上農地を借りないと駄目です。五反以上だから千五百坪以上です。いずれにしても相当柔らかくなったとは思ひます。最近は企業が農業に参入していますから、各地の農業委員会も柔らかくなったという感じがしています。

何故それを話したかという、このテーマの歴史は繰り返す。これは前も申し上げていますが、これは必要だから何度も言ひます。

昭和 21 年 2 月 17 日付けの新聞を調べるとよいということは何回も言っています。それで調べた方いますか。

ーネットですが、調べました。

ネットで結構だと思います。ネットですと、たぶん金融。金融緊急措置令というものが出る。もっと詳しく知りたければ国会図書館に行って調べると当時の物が出てきます。どういう経緯でそういう物が発令されたかということは自分で調べてください。いずれにしましても、祖父母や両親が銀座の柳を引き抜いて野菜を作った時代。家にある着物を持って農家へ買い出しに行った時代。そういう時代を経験している方は「またその時代が来ます」と言う。「あっ、また来るのね。用意しなきゃ」ということになります。それで先程の農業法人に繋がります。私は先々のお金の時代はというよりお金の役目は終わって、通貨としての機能はもう終焉を迎える。通貨以外の通貨に代わるべきものがこれから生まれてくる。50 年 100 年単位の中での動きですけれども、もしかして早いと 2018 年問題というものがありますが、2020 年問題、2025 年問題もあります。日本の経済体制、社会体制がおかしくなる。その時々ポイントがどうもこれからあるぞと感ずりますが、何にもなければこれに越したことはありません。しかし何かあった時に食べ物は自分で準備しなければならない時代が、もうヒタヒタと迫っていると思います。

御自分で調べいただくのは昭和 21 年 2 月 17 日付の新聞、何新聞でもよろしいです。ネットで見えていただいても良いと思います。

先ほど余計なことを私も言ったなと思いますが「講談師が見てきたような嘘を言い」で、フォローをしておきますと、中村天風先生はかなり練り上げて話しました。その練り上げるものは講談からかなりヒントを得たそうです。落語もそうですね話芸。目の前に、その映像が浮かぶように。その映像が浮かぶような話をするには、なかなか出来ることではない。それに聞く人のイメージを膨らませるようなものが入っているとよい。論語の素読もそうなるといいなと思っています。

時事評論

アメリカ経済－危機の本質

初めての方もおられるから申し上げますが、アメリカという国が転げ落ちていくと約 30 年前に木内信胤先生は言われて、それが『国の個性』という本で書かれています。

最初、木内孝さんが中斎塾フォーラムの顧問になっていただく時に覚えていることは「木内孝さんは一流の人物だ」という話を猪瀬理事長とした記憶があります。でも親は越えられないから、信胤先生が超一流で孝さんは一流だって話しても本人は反発しません。私は

陽明学がベースですから、こう話しているものは全て自分で見る、聞く。何か話をする時には本人に確認を取る。その上で話しています。仮に参与の悪口を言うとしたら、先に「こういう悪口を言うけれど」と、話した上でやりますので、実践体験がよいと思います。

こういうお話を続けていると色々な情報知識が入った時に突如として、はっと閃くものが総合的直観力となります。ですから今日お帰りになる中で、今日は何を話していたのかなと思った時に全部忘れてもいいから、はっと閃く心が大切と覚えていけばよいです。何でもよいから、はっと閃く。今日のお土産です。

はっと閃くことで今回の新聞の中で、これは良いなと感動したものが、津波の石碑に関するものでありました。

昨日の読売新聞・夕刊です。新学期から使われる中学校の教科書に東日本大震災が取り上げられています。中身は、大きな地震が来たらこの石碑よりも上に逃げてくださいと、刻まれた命の石碑を立てている高校生の活動を紹介していると書いてあります。

「てんでんこ」という言葉がかなり出ました。津波がきたら親のこと気にするな、子供のことに気にするな、てんでんばらばらでまず逃げろ。高い所に逃げろ。「てんでんこ」教育が行き渡っていた子供達はけっこう助かった。なまじちよつとした知恵がある先生が誘導したら小さい子は亡くなったという話があります。津波の石碑、生徒の活動を紹介という教科書がある。これは良いと思いました。

東日本大震災の後、私は家内と一緒に車で行きましたら、いたる所に石碑があったという実感があります。ただ石碑があっても捨てられている、見捨てられている。教科書でこういう活動を載せれば教科書は役に立つと思います。

もうひとつ、読売新聞に中国でトイレ革命の号令が出ました。あそこのトイレは凄かった。大きい池みたいなものがあって、板が渡してあり男も女もそこで用を足す。それが変わってくるなら良いね、若干の感動がある。

それからテロに関するものが色々と年がら年中新聞に載っていますけれども、興味を持ちます。

新聞を見ていると新聞はヒントが載っている。書いてあることは信用できないけれども、興味をそそる物は新聞にけっこう書いてあります。小さい囲み記事がよいと思います。どうぞそれは頭の中に少し置いていただければと感じます。

今日はここ迄とします。有難うございます。